

ふれあい情報

2016年 4月22日(金) 第228号

■発行 日本退職者連合

■発行人 菅井義夫

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

TEL 03-5295-0507 FAX03-5295-0541

<e-mail>tais yokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

<ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

連合と連携して九州大震災救援の取り組みを

熊本県・大分県を中心とする九州大地震のお見舞い

4月14日に発生し、現在も断続的に続いている熊本県、大分県を中心とする大震災で亡くなられた方々に心から哀悼の意を表します。また負傷された被災者の方々や家の失くされた方々へお見舞いを申し上げます。

2016年4月22日
日本退職者連合

<カンパの方法と振込み先>

1. 実施方法

(1) 産別・関連退職者連合

会員に情報を発信し、カンパへの協力をお願いします。

(2) 地方退職者連合

① 会員・家族に情報を発信し、カンパへの協力をお願いします。

② 地方連合会が街頭で実施するカンパ活動に協力する。

2. 振込み・集約

(1) 振込み

① 口座番号 中央労働金庫本店営業部
(普通)0124209

② 口座名 「連合九州地震カンパ」

* 振込み手数料は、かかりません。

(2) 集約 第1次集約 5月13日(金)

第2次集約 6月24日(金)

余震・本震と今なお、激震が続いている熊本や大分地方では、乳幼児や高齢者の方々が避難生活で苦しんでいます。

4月14日から続いている九州大地震で多くの方々が被災されました。現在も学校や公共施設等で高齢者の皆さんが厳しい避難生活を余儀なくされています。退職者連合はこうした方々の救援のため緊急カンパを取り組むことにしました。すでに4月21日付けで傘下の構成組織(産別・関連退職者連合、地方退職者連合)に対して緊急要請しました。

また車などに避難している中高年の方々の中にはエコノミー症候群で亡くなる方も出ています。一日も早い地震の収束を祈るほかは、手立てがありません。現在、国や自治体は懸命に救助・救援活動に取り組んでいます。退職者連合は、高齢者団体として、被災地の高齢者に思いを馳せ、連合と連携してできる限りの救援、支援を取り組むことにしました。退職者連合の阿部保吉会長は、全国の会員に対し、この取り組みへの協力を強く訴えました。



▲街頭で九州大震災救援カンパ活動を行う連合本部。
(4月19日、都内・JR錦糸町駅前)

退職者連合が「特別救援カンパ」を呼びかけ

連合が「震災対策救援本部設置」。支援活動が始まる

災害救援・組織ボランティアの取り組みへ

逢見事務局長が現地入り、被災地・熊本で現地対策会議を開く(4月20日)

阪神・淡路大震災では5万4000名、3・11東日本大震災でも3万6000名の組合員を組織ボランティアとして派遣し、救援活動・復興支援を取り組んできた連合が、今回の九州大地震救援で活動をスタートさせました。自衛隊や警察に次ぐ組織力を持ち、自前で行動できる民間最大の能力を持つ連合の救援活動が始まったことは、被災地の方々への大きな励ましになります。今後、県や市、社会福祉協議会などと連携して、これまでの経験を活かした活動を展開することが期待されます。



▲上田会長に第1次支援カンパ(500万円)を手渡す
連合・逢見事務局長(4月20日、熊本市内)。

臨時三役会と臨時中 執を開き、当面の救援 対策決める

連合は4月18日午前、緊急三役会議を開催し、神津里季生連合会長を本部長とする「熊本を中心とする九州地震災害対策救援本部」を設置し、19日には臨時中央執行委員会を開き、被災地救援特別カンパの実施など当面の対策を決定しました。

一方、連合事務局では18日に開いた全体会議で救援の取り組みについて意思統一するとともに当日から1週間予定していた「クラシソコアゲ」での主要駅頭5カ所での街頭キャンペーンを救援募金行動に切り替えて池袋、錦糸町などで救援カンパ活動を行いました。

さらに20日には、再開された熊本空港から連合本部の逢見直人事務局長と山根木晴久総合組織局長、並木泰宗企画局長の3名が被災地の熊本市に入りました。現在、熊本市中央区にある連合熊本事務所は使用することができず、自治労熊本県本部に仮設事務所を設置しています。

はじめに逢見事務局長が連合熊本の上田淳会長に緊急カンパを手渡し、激励しました。

その後、対策会議を開き、連合熊本の役職員の被災状況や今後の救援態勢など、当面の取り組みについて話し合いました。連合では、余震の収まり状況などを見極めながら、連合本部から担当者派遣し、ボランティア派遣など応援態勢づくりなどの活動を取り組むこととしており、上田会長は「仲間の有

り難さが身にしみます。きわめて厳しい状況ですが、この困難を必ず乗り越えていくよう精一杯とめます。連合の仲間みなさんのお力をお貸しください」と語り、連合本部の支援に期待を表明しました。



▲連合熊本と一緒に今後の救援について現地対策会議を開く。正面が逢見事務局長。(同)